

-MOBARA MOTOWEST GP Rd. 4 -

(Text:S.Tomimoto Photo: S.Tomimoto)



- 実質的な開幕戦、チャンピオン Team ドルフィンが盤石の走りで優勝！ -

レースレポート

新型コロナウイルス感染拡大防止のためキャンセルが続き、6月にエキシビジョンレースは行ったもの実質的な開幕戦は9月にまで伸びてしまった F4 クラスのレースであったが、9月6日に茂原ツインサーキットで開催された MOBARA MOTOWEST-GP にて7チームがエントリーした。

赤旗が掲示されるほどの強い雨によりフリー走行はウエットとなったが、その後は天候が回復し予選はウエットパッチが残るドライ路面、決勝は完全なドライでのレースとなった。

ポールポジションは新パッセンジャーを起用した昨年のチャンピオン、No.1 Team ドルフィン (安田・逸見組)、抜群のスタートを決めて後続を確実に引き離しながら独走で優勝を飾った。マシンを改良しコーナーリングが大幅に改善した No.53 パワーパイプ RT (鈴木・黒米組) 2番グリッドからのスタートを決めてこちらも独走で2位となり、あと1歩で優勝争いが期待できそうな走りを見せた。3位にはスタートに失敗し大幅に出遅れたが巻き返した No.28 TeamK2 (木下・栗原組)、序盤はリードするもバトルに競り負けた No.5 コンビネーション RT (渡辺・小木組) が4位となった。今回がデビュー戦となった No.46 TeamTBA (大久保・藤原組) は5位、マシンのセッティングと走行経験を積みば上位に上がってくる兆しを見せた。6位にはスタート直後に接触クラッシュしたがコースに復帰した No.13 RT グリーンピース (大木・菊池組)、No.25 ヴァンダレ-ンクアツギ (清野・小林組) は接触によりリタイアとなった。次戦は11月22日に同サーキットで開催予定となっている。

